



主な内容

- こんにちは！にかほ市スポーツ推進委員です P 2～3
- にかほ市の財政状況・財務書類4表（連続） P 4～5
- まちの話題..... P 6～7
- 行政情報チャンネル..... P10～13
- 暮らしの掲示板..... P14～15
- 戸籍の窓口、3月のカレンダー..... P 17

その音色、春の調べ♪

写真＝平沢小学校スプリングコンサート

vol.204 **3.15**
 2014

がんばろう東北

まちの**元気人**

人との出会い、自然との出会い
 そこに生まれる心を詠む



宮本 秀孝さん
 (畑/79歳)

10月18日・19日開催の「奥の細道全国俳句大会」企画委員会委員長を務める宮本さん。講師として、あぜみち俳句会（上郷）と松露俳句会（由利本荘市）で指導にあたっています。「俳句は、私にとって生きる糧。みなさんにも俳句の楽しさを知ってほしい」と笑顔で話してくれました。

俳句は、教員だった昭和45年、校長先生に誘われたのが始まりです。それまで俳句の字も知りませんでしたが、その先生との出会いが私の一生を左右しました。それから病み付きになってもう43年。榎火句会やにかほ俳句会に入り、旧大内町の遠藤東坡子先生に指導していただきました。私の初めて作った俳句は、季語の題を「屏風」と指定された時、1週間前の披露宴でお嫁さんがきれいだっただけで、頭に浮かんで詠んだ「内掛けの姿面映ゆ金屏風」。冷や汗をかいた当時のこ



俳句仲間と吟行にて

市内の3つの俳句会はどこも高齢化が課題です。若い人に俳句に親しんでもらいたいと思ひ、要望があれば積極的に小中学校を回ります。日本独特の文化の俳句は季語が基本。四季の変化を五感で感じ取り作品を作る。それをみんなで集まって鑑賞しあうのは、本当に楽しいですよ。

国民文化祭・奥の細道全国俳句大会の投句を4月1日から募集します。松尾芭蕉が来た当時と風景は変わっていますが、おくのほそ道の景勝地「象潟」を全面に出して、全国の方々からお出でいただき、芭蕉の思いを感じ親しんでもらいたい。祭りですから市民の皆さんとともに盛大に楽しみたいと思います。

とを、今でも生々しく覚えています。交友も全国に広がり、これまで句集を2冊作りました。第3句集を出すのがこれからの希望です。これまで花鳥諷詠を詠んでいましたが、年をとったせいも近年、自分の姿をなんとか作品の中に入れていたいと思うようになってきました。最近の句です「しわしわが似合う晩年冬帽子」。人との出会い、自然との出会いの中から、心の動き（喜怒哀楽）を作品にしていきたいと思っています。

季節の変化を感じるのが基本

鏡で自分の顔を見ながら作ってみよう。
 ぼく・わたしに似ているでしょ！



作品名：版画の自画像

勢至保育園
 きりん組（年長）

子どもたちの美術館
 じょうぎにできた！

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地
 ☎0184-43-3200（代表）☎0184-43-7510（直通）
 電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp



第29回 国民文化祭・あきた2014
 平成26年10月4日（土）～11月3日（月・祝）

広報にかほは、にかほ市ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>